

令和元年7月23日

令和元年

第7回教育委員会定例会会議録

大田区産業プラザ

令和元年7月23日（火曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史		教育長
三 留 利 夫	委 員	教育長職務代理者
弘 瀬 知江子	委 員	
後 藤 貴美子	委 員	
高 橋 幸 子	委 員	
深 澤 佳 己	委 員	

2 出席職員（13名）

教育総務部長	後 藤 清
教育総務課長	杉 山 良 樹
教育施設担当課長	鈴 木 龍 一
副参事（教育地域力担当）	元 木 重 成
副参事（施設調整担当）	荒 井 昭 二
指導課長（幼児教育センター所長兼務）	岩 崎 政 弘
副参事	早 川 隆 之
学校職員担当課長	池 一 彦
教育センター所長	柿 本 伸 二
大田図書館長	中 平 美 雪
指導課 統括指導主事	塩 野 恵
指導課 統括指導主事	木 下 健 太 郎
指導課 指導主事	古 川 大 輔

3 日程

日程第1 令和2年度使用小学校教科用図書調査委員会からの報告

日程第2 令和2年度使用中学校教科用図書調査報告

~~~~~

(午後 2 時00分開会)

○教育長

ただいまから令和元年第 7 回教育委員会定例会を開催いたします。

本日は、教科用図書調査委員会からの報告がありますので、大田区教育委員会会議規則第14条により、江森利公教科用図書調査委員会委員長、伊藤均同副委員長及び教科書採択関係職員の出席を求めています。

それでは、本日の会議に出席する職員の氏名の読み上げをお願いいたします。

○事務局職員（庶務係長）

本日の出席職員の名を読み上げます。

後藤清教育総務部長、杉山良樹教育総務課長、鈴木龍一教育施設担当課長、荒井昭二施設調整担当副参事、元木重成教育地域力担当副参事、岩崎政弘指導課長、早川隆之教育総務部副参事、池一彦学校職員担当課長、柿本伸二教育センター所長、中平美雪大田図書館長、塩野恵統括指導主事、木下健太郎統括指導主事、古川大輔指導主事、以上、13名でございます。

○教育長

本日は、傍聴希望者がおります。大田区教育委員会傍聴規則第 7 条により、傍聴人は議場における言論に対して批評を加え、または拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願いいたします。

これより審議に入ります。本日の出席委員数は、定足数を満たしておりますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に高橋委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

続いて、本日の日程第 1 について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員（庶務係長）

日程第 1 は、「令和 2 年度使用小学校教科用図書調査委員会からの報告」でございます。

○教育長

それでは、令和 2 年度から使用する小学校教科用図書の調査報告について、教科用図書調査委員会の江森委員長及び伊藤副委員長から、前半は国語、書写、社会、地図、算数、理科について報告をいただきます。5 分の休憩を挟んだ後に、後半は、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、英語、道徳について説明をお願いいたします。

それでは、国語、書写、社会、地図、算数、理科についてのご報告をお願いいたします。

○教科用図書調査委員会委員長

報告書の 1 ページをご覧ください。教科用図書調査委員会は、5 月 13 日の第 1 回から 7 月 9 日の第 3 回にわたり、採択対象となる教科書について慎重に調査検討を行い、教育委

員会の採択審議に関わる調査資料を取りまとめましたので、本日報告書を提出いたします。

教科用図書調査委員会の調査研究及び審議検討に当たりましては、教科用図書資料作成委員会が作成した調査資料に基づき、また「学校意見」及び「区民意見」も含めて、公正かつ適正に審議検討を進めてまいりました。この内容についての概要を報告いたします。

1、調査対象の教科用図書は、文部科学省検定済みであり、内容面や人権上の配慮等については十分に検討されており、どの教科用図書が使用されても学習指導要領に示された教科の目標が達成できるという前提で協議いたしました。

2、本委員会では、「資料作成委員会報告書」「学校意見」「区民意見」の三者を基礎資料にして、その妥当性を確認しながら、委員の調査資料に基づき、検定済み教科用図書全てについての特徴を整理しました。

3、本委員会における調査は、大田区教科用図書採択要綱実施細目に示された「内容のおさえ方」「構成・分量」「表現」「使用上の便宜」の四つの観点から実施し、教育委員会における採択事務が適切かつ円滑に行われるよう、大田区の児童の実態を考慮しながら、客観的に報告できるよう努めました。

4、6月1日から6月30日までの期間中、教科書展示会場には943名の区民の皆様にご来場いただくとともに、ご意見をいただきました。また、「学校意見」は、小学校全60校から出され、それぞれの教科用図書についての細かな意見が出されているので貴重な資料となりました。教科指導の専門家としての見方を尊重しつつ、資料作成委員会との整合性に配慮しつつ、協議を進めました。

以上が、概要です。

それでは、国語の特徴について、まとめた結果の要点を報告いたします。報告書の2ページをご覧ください。まず、内容のおさえ方です。

「東書」の「読むこと」の単元では、導入ページを設置し、右ページに「読みのめあて」と既習事項、左ページに教材分に関わる挿絵や写真とリード文を載せて、学習の見通しをもたせています。

「学図」の「読むこと」の単元では、ページの冒頭部分に「読みのめあて」を掲載しています。

「教出」の「読むこと」の単元では、「単元とびら」というページを設置し、学習の目標と読む意欲を喚起する一文を掲載しています。

「光村」の「読むこと」の単元では、導入のページを設置し、「読みのめあて」と既習事項、教材分に関わる挿絵や写真とリード文を載せて、学習の見通しをもたせています。

次に、構成・分量です。

「東書」では、付録に物語教材が載っており、その学年で学習した作者が書いた別の物語や関係のある題材が入っています。

「光村」では、1学期の説明文学習は、2教材構成となっています。見開きで練習教材を学び、続く長い教材で活用するという構成にしています。

次に、表現です。

「東書」は3年、「学図」「教出」は4年、「光村」は5年に点字表が掲載されています。「学図」「教出」「光村」は凹凸があり、体験的に学べるようになっていますが、

「東書」は凹凸がついていません。

原則3年生以上の詩の小单元において、「東書」「学図」は挿絵が削除されています。「教出」「光村」は抽象的な挿絵を用いることが多くなっています。いずれも、叙述に即して想像させるという国語科の目標に合致しています。

次に、使用上の便宜です。

「学図」「教出」は全学年、上下の分冊です。「東書」「光村」は1から4年までが上下分冊、5、6年は1冊の合本です。

「東書」の各学年の冒頭には、その学年で身につける「言葉の力」の一覧が掲載されており、1年間の言語活動を領域別に並べています。

「学図」の3年以上の上巻の冒頭には、その学年で身につける「言葉の力」を一覧にした折り込みページを設置しており、知識・技能の指導事項と单元名を掲載しています。

「教出」の冒頭には、「学びの地図」という見開きページを設置しています。年間の単元のねらいを地図風に順番にたどっていくイラストにしています。

「光村」の2年以上の冒頭は、「国語の学びをみわたそう」の折り込みページを設置し、单元名と言語活動を示しています。

最後に、その他、「学校意見」では、「光村」に肯定的な意見が多くありました。

国語についての報告は以上です。

次に、書写の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の3ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

運筆練習では、「東書」が一番短くても4センチで、手首や腕を動かして書く長さです。「教出」は12センチで、腕を下げながらなぞる長さであり、一度に二つのことを求めています。「日文」は、縦で9センチ、横10.5センチで、大人が3本の指を大きく動かすサイズです。「学図」は1.5センチ程度、「光村」は長いものでも2.5センチと短く、3本の指を動かして書くのに適しています。

「東書」「光村」「日文」は、鉛筆を持ったときに自分から見える手の実物大の絵があります。「学図」「教出」には、鉛筆を持ったときに自分から見える手の絵や写真はありません。

次に、構成・分量です。

1年生の硬筆の「なぞる箇所」「書く箇所」について、「学図」は数が多く、文字を書くということを強く意識した構成となっています。「教出」は、教科書への書き込みがほとんどありません。

毛筆の手本は、「学図」が26点、「教出」が34点、「東書」が35点、「光村」が40点、「日文」が41点掲載しています。「教出」のみ2ページを使った原寸大の見本があります。

「東書」「教出」「光村」「日文」は、姿勢、運筆、筆づかい、筆順、字形、文字の大きさと配列が段階的に習得できるように配慮されています。「学図」は、手本の数が少なく、姿勢、運筆、筆づかい、筆順、字形、文字の大きさと配列が簡潔に習得できるように配慮されています。

次に、表現です。

姿勢の合い言葉において、「東書」「学図」「光村」「日文」は背中、「教出」は腰に対する表現となっています。「東書」は書写と国語の教科書で若干合い言葉が異なりますが、「学図」「教出」「光村」は合い言葉が国語と統一されています。「日文」は独自の国語の教科書はありません。

次に、使用上の便宜です。「東書」のみ教科書の横幅が2センチほど大きく、そのスペースにインデックスや既習事項などの情報が示されています。

「東書」「教出」「光村」「日文」は水書用紙がついている学年がありますが、「学図」はついていません。

1、2年の「学図」には「だいじなところ」「きをつけたいところ」「名前用」のシールがついています。3年生の「光村」には、「ななめほさきちゃん」「始筆」「送筆」「終筆」のたしかめようシールがついています。「東書」「教出」「日文」にはシールはついていません。

最後に、その他、学校意見では、「光村」に肯定的な意見が多くありました。

書写についての報告は以上です。

それでは、社会の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の4ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「東書」「教出」「日文」とも、様々なまとめ方や表現の仕方が例示されています。

「東書」「教出」では、運輸の働きの学習で、大田区の「トラックターミナル」が、日本の工業生産の特色の学習では、大田区の中小工場が取り上げられています。

「日文」では、4年生の「下水のしよりと再利用」の選択単元で、森ヶ崎水再生センターが取り上げられています。

次に、構成・分量です。

「東書」では、3、4年は合冊、5年は上下分冊、6年は歴史編と政治・国際編で分冊となっています。

「教出」「日文」では、全学年とも合本となっております。

「東書」は、「つかむ」「調べる」「まとめる」等、学習過程の段階と本時のめあてが各ページに明記されています。

「日文」の3年生の「安全なくらしを守る」の単元は、消防と警察を一つの単元として構成しています。

次に、表現です。

「東書」は、本文の文字のポイントが大きく、キーワードが太字で記載されていてわかりやすくなっています。

「日文」は、どの単元も文字の形と大きさの種類が豊富であり、文字の種類、大きさも多様です。

「東書」は、どの単元も写真が大きくインパクトがあります。写真、資料、文字の配列が整然としていて見やすいです。

次に、使用上の便宜です。

「東書」は、学習指導要領の内容の取扱いに「選択・判断」が示されている単元で、「いかす」のページが設けられ、自分たちにできることなどを考えたり、選択・判断した

りする学習ができます。

「教出」は、見開きのページの左上に「この時間の問い」、右下に「次につなげよう」が示されており、本時で追及する事項と次時の見通しが明確になっています。

「日文」は、「さらに考えたい問題」について交流する場面が例示しており、自分にできることを選択・判断する例が示されています。

最後にその他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多くありました。  
社会についての報告は以上です。

次に、地図の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の5ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「東書」の巻頭には、特産物等のイラストが多く記載された世界地図と日本地図のページがあり、地図への関心を高めるようにしてあります。

「帝国」の巻頭には、12ページにわたって「地図のやくそく」「地図帳の使い方」のページを設定し、地図の使い方を学習できるようにしてあります。

「東書」の日本の自然災害のページでは、地図と災害名が線で結ばれており、わかりやすいです。

「帝国」では、各ページに「地図マスターへの道」というコーナーが設けられており、地図の活用技能を高める活動が示され、巻末にできた数だけ丸を塗り潰すページがあります。

次に、構成・分量です。

「東書」では、索引が10ページ設けられており、行間にゆとりがあります。

「帝国」では、索引が9ページ設けられており、歴史に関係する事項が多く掲載されています。

「東書」では、日本の世界遺産、世界の動物や主な郷土料理等が掲載しており、各教科等で活用できるよう配慮しています。

次に、表現です。

「東書」では、10のキャラクターが、「帝国」では、3のキャラクターが登場し、学習の手がかりを示しています。

「帝国」では、巻頭には3年生からの使用を意識して、記載内容を精選したシンプルな地図が掲載されています。

「東書」では、索引が黒と赤の2色で表現されています。

「帝国」では、索引が赤太字、赤字、青字、緑字、黒字の5種類で表現されています。

「東書」では、高度による色分けが細かく設定されています。「帝国」では、山地が浮きだっただけに見えるように地形の起伏を表現しています。

次に、使用上の便宜です。

「東書」の「デジタルマーク」が示された箇所では、QRコードを利用し、関連するクイズや動画などのコンテンツを活用した学習ができるようになっています。

「帝国」の「二次元コード」が示された箇所では、関連するクイズや資料などのコンテンツを活用した学習ができるようになっています。

「東書」「帝国」とも、製本は堅牢であり、4年間の仕様に耐え得るつくりとなっています。

ます。

最後に、その他の学校意見では、「帝国」に肯定的な意見が多くありました。

地図についての報告は以上です。

それでは、算数の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の6ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「東書」は、2年の「3けたのたし算」でカードを使って数のまとまりを抽象化しています。

「東書」「大日本」「啓林館」「日文」は、3年の「わり算」の導入で、等分除から扱っています。「学図」「教出」は、等分除と包含除の両方を見せています。

「大日本」「日文」は4年の「およその数」で、概数から2けたのわり算を指導するようにしています。

「東書」「学図」「啓林館」「教出」は、6年の「分数のかけ算・わり算」で、単位分数を使って導入しています。

次に、構成・分量です。

「東書」「大日本」「日文」は、単元の導入で既習事項を振り返るページを多く設けています。

「東書」「教出」は、大田区学習効果測定において、比較的課題が見られる図形、変化と関係領域の分量の比率が大きいです。

「日文」は、巻末における習熟度に応じた練習問題のページ数が多いです。「大日本」「教出」は、練習問題のページ数が少ないです。

次に、表現です。

「東書」「大日本」「学図」「教出」「啓林館」「日文」は、全学年で書き込み形式をとっています。

「大日本」「啓林館」は、読み取る力を伸ばすためのページや学習に役立つ資料を多く掲載しています。

次に、使用上の便宜です。

「学図」は、全て上巻・下巻に分ける分冊にしています。「東書」「日文」は、6年のみ合本にしています。「啓林館」は、1年のみ合本にしています。「教出」「啓林館」は、1、5、6年で合本にしています。「大日本」は、全て1冊にまとめる合本にしています。

「東書」は、1年の1分冊を大判化し、入門期に児童が数をかぞえて書いたり、ブロックを使った数学的活動をしやすくしたりしています。

「大日本」「学図」「日文」は、目次に大単元名と小単元名を記載しています。

「東書」「大日本」「日文」は、右ページから、「教出」は左ページから、「啓林館」「学図」は単元によって左右異なるページから、単元が始まるようになっています。

「大日本」「学図」は、全学年でプログラミング教育に関するページを特別に設けています。「東書」「啓林館」は、5、6年でプログラミングを体験するページを設けています。「教出」「日文」は、5年でプログラミングを体験するページを設けています。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多くありました。



算数についての報告は以上です。

それでは、理科の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の7ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

6年のプログラミングについて、「大日本」は4ページ配当されています。「学図」は6ページ配当され、小单元として扱っています。「啓林館」は4ページ配当され。巻末に付録もついています。「東書」「教出」は2ページ配当されています。

自然災害については、「学図」「教出」は小单元として扱っています。「東書」「大日本」「啓林館」は单元の中で扱っています。

次に、構成・分量です。

「大日本」は、同一実験器具や理科室の仕様が学年間で重複しないよう、单元配列に配慮しています。

4年の植物教材は、「東書」「学図」「教出」はヘチマ、「大日本」はゴーヤ、「啓林館」はヒョウタンを扱っています。

「学図」は、3年の風とゴムのはたらきを別々の单元として扱っています。

天候に左右される单元は、「東書」「大日本」「教出」「啓林館」は2学期にまとまっています。「学図」は、1学期と2学期に分散しています。

次に、表現です。

「東書」は、サイズが大きいので、写真やイラストが多く、大きく掲載されています。

「大日本」は写真が多く活用され、画像資料の提示を工夫しています。「教出」はイラストで実験方法や手順を示している箇所が多いです。

学習の流れについては、「東書」は「まとめ」、「大日本」は「わかったこと（3、4年）」「結論（5、6年）」、「学図」は「わかったこと」、「教出」は「結論」「啓林館」は「まとめ」で表現されています。

「大日本」の单元の最初は、「気づいたことを話し合ってみよう」と記載され、子どもの気づきを大切にしています。

次に、使用上の便宜です。

「東書」、「大日本」は全学年、「教出」は3、5年、「啓林館」は3、5、6年に授業に活用できる巻末付録がついています。

QRコードはどの教科書にも巻頭や巻末などに示され、活用されています。「啓林館」は各单元の様々な箇所に示されています。

「東書」「大日本」「学図」「啓林館」は巻末に理科室の使い方や実験器具の使い方などが示されています。

最後に、その他の学校意見では、「学図」に肯定的な意見が多くありました。

理科についての報告は以上です。

## ○教育長

では、ここで5分間の休憩をさせていただきます。

開始につきましては、2時38分からです。

それでは、休憩とさせていただきます。

○事務局職員（庶務係長）

事務局から傍聴の皆様へご案内をいたします。

お手洗い等で一時会場の外へ出られる方は、再入場の際に改めて傍聴券を確認させていただきますので、傍聴券をお手元にお持ちの上、ご退場をお願いします。

また、これをもって傍聴を終了される方は、傍聴券を回収させていただきます。再度会場にお戻りにならない場合は、係員へ傍聴券をお返しの上、ご退出ください。よろしくお願いいたします。

（ 休 憩 ）

○教育長

それでは、再開したいと思います。

引き続き、教科用図書調査委員会から、令和2年度から使用する小学校教科用図書の調査について、説明をお願いいたします。

○教科用図書調査委員会副委員長

それでは、生活の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の8ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

上巻冒頭に、就学前教育との円滑な接続を図る内容を、全者が載せていますが、「東書」「日文」「啓林館」はスタートカリキュラムを説明する分を記載しています。

「大日本」は、自分の成長について気づくことができるよう工夫しています。

「教出」は、巻末の「学びのポケット」で、他教科で学んだことを生活科で相互に発揮できることがわかるよう工夫しています。

「光村」は、写真やイラストを中心にして、児童の学習意欲を引き出す工夫をしています。

「学図」は、写真やイラストを多く使用し、各巻末には「学び方図かん」が充実し、児童の主体的な活動を支援しています。

次に、構成・分量です。

「東書」は、各単元の紙面右端に「やくそく」として掲載した児童が安全に生活できる力を身につけさせる配慮や、「活動の仕方」がまとめてあり、参考にしやすいです。

「大日本」は、紙面右端に「せいかつことば」のコーナーを載せ、ゆきの名まえを多様な表現であらわすなど、語彙力を高める工夫をしています。

「教出」は、各単元の終わりに「なにをかんだかな」の振り返りを設定し、自分の活動について「まんぞくハシゴ」で自己評価することができます。

「光村」は、各単元が「ホップ・ステップ・ジャンプ」、「啓林館」は、「わくわく・いきいき・ぐんぐん」の学習過程で構成され、学習活動の流れがわかりやすくなっています。

次に、表現です。

「東書」「学図」「教出」「光村」「啓林館」「日文」は、季節の変化がわかるよう、同じ場所での活動の絵を載せています。「学図」「光村」は、四季まとめて1カ所に掲載し、季節ごとに比較しやすいようにしています。

「光村」は、球根や野菜、虫や小動物の写真をアップで掲載し、各上下巻に飼育・栽培単元を設けてあり、継続的な活動がしやすいです。

次に、使用上の便宜です。

「東書」は、巻末の実物大の動植物「ポケットずかん」や、「あさがおのかんさつずかん」の例示等資料が豊富で、児童の学びを支える工夫がされています。

「啓林館」は、紙面右下に「めくり言葉」を設定し、児童が次の活動へ期待感を高めたり、「おもちゃの作り方」の解説等について工夫がされています。

「大日本」は、ICT機器を活用した授業場面や発表場面が掲載され、児童が授業のイメージがしやすいです。

「学図」は、各上下巻に、保護者に向けた単元のねらいが示されています。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多かったです。

生活についての報告は以上です。

次に、音楽の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の9ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「教出」は、楽器の演奏方法や学習のポイントについて説明する文章が記載されています。「教芸」は、楽譜や図が大きく示されており、児童が教科書を持って学習する際に、見やすく理解しやすいです。

「教出」は、透明シートを活用し、5年ではオーケストラの楽器名がすぐわかる手法がとられています。「教芸」は、演奏者等のインタビューが記載されており、演奏者の気持ちや考えなどに触れることができます。

「教出」は、低学年から、楽譜は五線譜で記載されています。「教芸」は、学年や学習内容に応じて、楽譜のかわりにメロディーをあらわした図を記載しています。

次に、構成・分量です。

「教出」は、領域別曲数は、歌唱が81曲、器楽が44曲、音楽づくりが25曲、鑑賞が46曲です。

「教芸」の領域別曲数は、歌唱が79曲、器楽が53曲、音楽づくりが23曲、鑑賞が51曲です。

「教出」は、音楽づくりの領域が1年から3年は13曲、4年から6年は12曲記載されています。「教芸」は、音楽づくりの領域が1年から3年は14曲、4年から6年は9曲記載されています。

「教出」は、5年の題材1で「和音」について学習し、題材3でオーケストラの響きについて鑑賞する学習の流れになっています。「教芸」は、5年の題材3でオーケストラの響きを鑑賞し、題材4で楽器の「和音」について学習する流れになっています。

次に、表現です。

「教出」は、共通教材の写真が見開きでイメージしやすいです。写真数は308点です。

「教芸」は、曲に応じて、イラストや写真を使い分けています。写真数は282点です。

4年の「もみじ」について、「教出」は、左側のページに楽譜を記載し、右側のページに学習方法や曲に関する資料を記載しています。「教芸」は、楽譜を左右に分けて記載し、二部合唱の学習内容を明らかにしています。

「教出」は、君が代に細石の写真が全ての学年で記載されています。「教芸」は、君が代において、国際人を育むための記述がなされています。

次に、使用上の便宜です。

「教出」は、題材名や学習めあては、キーワードとなる言葉が色分けされています。「教芸」は、目次の題材名の文言は、児童が学習の見通しをもてるように文末表現を配慮しています。

「教出」は、共通教材の一部は、3年以降、写真と歌詞のみ記載されています。「教芸」は、共通教材の曲には、題材名及び学習のめあて、資料等が記載されています。

「教出」は、学年によって教科書の大きさが異なり、学年に応じて使いやすいです。「教芸」は、教科書の大きさは、全ての学年で等しいです。

最後にその他・学校意見では、「教芸」に肯定的な意見が多かったです。

音楽についての報告は以上です。

それでは、図画工作の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。

報告書の10ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

めあてや振り返りの視点について、「開隆堂」は、資質・能力の3つの柱に対応したキャラクターを設定し端的に記載しています。「日文」は、児童に理解しやすい具体的な言葉で示しています。

次に、構成・分量です。

扱っている題材について、「開隆堂」は、「立体」、「工作」、「造形遊び」の割合に偏りがありますが、「日文」については、おおむね同じ割合で扱っています。

紙面構成について、「開隆堂」は、題材によって1ページまたは見開き2ページで示しています。「日文」はどの題材も見開き2ページで示しています。

鑑賞題材の扱いについては、「開隆堂」は、美術作品の写真を大きく掲載し、児童の感性に働き掛ける構成となっています。「日文」は、表現と鑑賞を一体的に扱えるような設定となっています。

次に、表現です。

「開隆堂」は、題材に合わせてページごとにデザインを工夫するとともに、大きな図版、美しい発色で感性に働き掛け、意欲を喚起する効果が高いです。また、「工作」では、絵や写真を掲載して制作過程の見通しをもてるようにしています。

「日文」は、概ね左ページに発想・構想、制作過程、右ページに作品例や制作後の活動を示し、見開き2ページを右から左に読むと単元の見通しをもてるようにしています。また、図版と言葉による工夫するポイントの両方を重視しています。

次に、使用上の便宜・「開隆堂」は、題材ごとに他教科との関連を示しています。「日文」は、題材によって道徳との関連を強調して示しています。

発想のヒントとなるページについて、「開隆堂」は「ひらめきコーナー」で、工作や立体の制作等に活用できる紙を加工してできる表現を例示しています。「日文」は「ひらめ

きポケット」で、さわる、並べる、つなげる等の行為から発想のヒントにつながる例示をしています。

「開隆堂」は、デジタルコンテンツの活用を強調するとともに、幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校の接続を考えた事例を扱っています。

「日文」は、家庭生活や地域での生活に生かしてつなげる事例や、防災・安全、環境、平和・人権、国際理解などのE S Dに関わる事例を掲載しています。

最後に、その他、学校意見では、「日文」に肯定的な意見が多かったです。

図画工作についての報告は以上です。

次に、家庭の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の 11 ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「東書」では、問題解決型の学習展開となるよう全題材で「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3ステップ構成をとり、題材最後には、生活に生かす活動場面を児童に考えさせています。

「開隆堂」では、児童の主体的・対話的で深い学びの鍵である生活の見方・考え方を「協力する・助け合う」「健康・快適・安全な生活をする」「人びとの生活や文化の大切さに気づく」「持続可能な社会をめざす」の四つの視点で表現し、児童が一連の学習過程の中で確認できる内容となっています。

次に、構成・分量です。

家庭科の四つの学習内容のページ数の割合については、大きな差異はありません。

題材の配列については、「開隆堂」「東書」とも、地域や学校の実態に応じた指導ができるよう配慮されています。

「開隆堂」「東書」とも、本区のICT機器の活用を促す学習に効果的なコンテンツが提供されています。「東書」は、各教材にQRコードを記載することによって、児童がより主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

次に、表現です。

「東書」では、人との関わりを示す場面ではイラストや写真を豊富に掲載し、効果的に用いています。また、児童が自己の成長を感じられるように、「成長の記録」「5年生のまとめ」「2年間のまとめ」で学習の振り返りができるページが設定されています。

「開隆堂」では、学習指導要領で新設された「生活の課題と実践」の事例が充実しているほか、他題材、他教科との関連も多く記載されており、関連づけて学習することにより、学びが充実し、学びの質を高める効果が期待できます。

次に、使用上の便宜です。

「東書」「開隆堂」とも、見開きページが家庭科学習の基礎的・基本的な内容をまとめて掲載しているので、繰り返し見ることができ、学習や日常生活での課題解決に役立ちます。

「開隆堂」は、家庭科用語が一覧で示されており、言語活動の充実に資するとともに、索引のような活用もできます。各ページのページ番号の横には家庭科に関する語句の英単語が記載され、外国語等との関連が記載されています。

「東書」は、A4判を生かし、導入の写真やイラストを大きく掲載したり、実寸大写真

を設け、安全記述を丁寧に記載するなど、資料が充実しています。また、調理実習や制作実習の手順を詳しく解説しています。

最後に、その他、学校意見では、「開隆堂」に肯定的な意見が多かったです。

家庭についての報告は以上です。

それでは、保健の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の 12 ページをご覧ください。

まず、内容の押さえ方です。

「学研」は、終末の場面だけでなく、導入や展開でも記述できるページがあり、児童が考えを持ち、深められるように工夫しています。

「光文」は、「体の発育と健康」で、発展として性についての悩みが載せてあり、性自認や性的指向について簡潔に触れています。

「文教社」は、「心の健康」で性自認について触れています。

「東書」は、3・4年生の資料に体の部位を日本語と英語を併記して載せており、教科横断的な工夫がされています。

次に、構成・分量です。

「東書」は、小単元の最後に必ず資料ページが設けられており、学習内容の補足や発展的な内容を載せて、学びを深められるようにしています。

「学研」は、資料ページがどの単元も4から6ページ掲載されており、学習内容をより理解できるよう工夫しています。

「東書」「大日本」「光文」「学研」は、目次の後に保健学習の進め方が丁寧に取り上げられており、課題解決的な学習が進められるようになっています。

次に、表現です。

「東書」「文教社」「学研」「光文」は、本文中のキーワードとなる言葉は太字して目立つようにしています。

「大日本」は、「大きくなってきたわたし」の学習で、自分の身長伸びを調べる学習の際に活用するシールがついています。

「学研」は、ページ下部に家庭や地域で取り組みたい活動や他学年・他教科との関連等を載せています。

次に、使用上の便宜です。

「東書」は、どの資料が何ページに記載されているのかを目次に載せています。

「学研」は、友達と一緒に学習する活動、教え合う・学び合う活動など、協働学習を促すマークがあり、対話的な学習を行えるよう工夫しています。

「学研」は、全ての単元の最後に「振り返る・深める・つなげる」のページがあり、学んだことを生かして学習を振り返ることができます。

「文教社」では、単元の最後に、「わたしの〇〇宣言」のページを設け、発表などに活用できるよう工夫しています。

「大日本」は、全ての単元の最後に「振り返ろう・活用しよう・深めよう」のページを設け、学習を振り返るようにしています。

最後に、その他、学校意見では、「学研」に肯定的な意見が多かったです。

保健についての報告は以上です。

次に、英語の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の 13 ページをご覧ください。

まず、内容の押さえ方です。

「東書」「開隆堂」では、個人、地域や学校、世界と段階的に題材を設定しています。

「開隆堂」「光村」は、教科書の冒頭部分にCan-Doリストを掲載し、児童が習得すべき内容が明確になっています。

書くことに関する分量について、「東書」「学図」「教出」が平均して4行程度となっています。「開隆堂」「三省堂」「光村」「啓林館」は平均3行から2行となっています。

「東書」のみ、ワードリストが別冊「Picture Dictionary」となっており、5・6年と中学校1年まで使用に耐え得る内容となっています。

次に、構成・分量です。

「開隆堂」「光村」は、6年においてゲーム活動が19回取り入れられています。

「教出」は、オリンピック・パラリンピックを題材とした単元を一つ設けています。

「東書」「開隆堂」は1単元が6ページ、「光村」は8ページで構成されており、あとの4社は10ページで構成されています。

「開隆堂」は、Can-Doリストと単元の振り返りの構成が一致しています。

「東書」は、過去の使用教材「We Can!」「Let's Try!」と構成が一致している内容が多いです。

次に、表現です。

「啓林館」は、チャンツにアクセントが記されています。

「光村」は、活字体と書き文字の差異の生じ難い独自フォントを用いています。

「三省堂」は書き込み欄が少なく、別紙の4線に記入する方式となっています。

「東書」は昨年度までの文科省配布教材「We Can!」「Let's Try!」と同様のフォント、紙面デザインを用いています。

次に、使用上の便宜です。

「東書」「教出」「啓林館」は、巻末の単語カードやワークシートにミシン目が入っています。

「光村」の巻末にあるペンマンシップノートは、ミニホワイトボードとして活用できます。

「啓林館」にはモジュールマークがついており、短時間学習の際に取り組むべき内容が明確です。

「学図」「三省堂」「光村」は、発展的内容を明示しています。

「東書」には、Small TalkやWord Linkが示されています。

最後に、その他、学校意見では、「三省堂」に肯定的な意見が多かったです。

英語についての報告は以上です。

それでは、道徳の特徴についてまとめた結果の要点を報告いたします。報告書の 14 ページをご覧ください。

まず、内容のおさえ方です。

「東書」は、教材のページに発問がない、または3年以上は少ないため、発問がしやすいです。6年には、大田区を舞台とした教材があります。

「教出」は、偉人を取り扱う教材が多いです。また、伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の教材の数が多いです。

次に、構成・分量です。

「東書」は、中学年以降に「考えよう」に発問例が二つあります。

「学図」は、「きづき」「まなび」の2分冊の構成です。「まなび」は「わたしたちの道徳」の役割を果たしています。1年は、10番目の教材から長文の教材になっています。

「光村」では、「考えよう、話し合おう」「つなげよう」が各項目にあり、学習活動が明確化されています。

「日文」は、「読み物」と「道徳ノート」の2冊構成です。道徳ノートは、ワークシート集のようです。また、1年は、11番目の教材から長文の教材になっています。

「学研」は、「考えよう」に発問例が二つあります。

「あかつき」は、「読み物教材」と「ノート」の2冊構成になっています。目次には、内容項目がわかる印などは記入されていませんが、最後に一覧で示されています。

次に、表現です。

「教出」では、「とりどり先生」のコメントが詳しく書かれています。

「光村」では、詳しく書かれている教材が多く、文章量が多いです。発問例が平均して三つあります。また、コラムの部分が行為を促すものや言語事項のページが多く掲載されています。

「光文」は、各教材の最後に今後の実践を勧めるような問いがあります。また、「道徳の時間はこんな時間です」には、「問いをもつ」「考える」「まとめる」「いろいろな場面で」という学習の指針が示されています。

次に、使用上の便宜です。

「学図」は、「まなび」の配列が内容項目ごとにまとまっているため、評価に活用しやすいです。6年に大田区出身の人物が描かれている教材があります。

「日文」は、教材の冒頭にその時間で考える内容について呼びかける形で学習問題が書かれています。登場人物が、イラストで初めに紹介されています。

「学研」は教科書が大きく、開くとA3サイズです。また、各教材の冒頭には主題名が書かれていませんが、最後のページにまとめて掲載されています。

「あかつき」の発問例には、具体的行為や理由を考えさせる発問が多く見られます。

最後に、その他、学校意見では、「東書」に肯定的な意見が多かったです。

道徳についての報告は以上です。

## ○教育長

ありがとうございました。

ただいま、江森委員長、そして伊藤副委員長からご報告がありました。

それでは、委員の皆様、ご質問等がありますでしょうか。

## ○三留委員

三留でございます。

私のほうからは、総括的な質問を2点させていただきます。今回の学習指導要領の大き



なポイントの一つとして、「主体的、対話的で、深い学びの実現に向けた授業改善」があります。これに関連して聞きます。

1点目は、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」や「問題解決的学習」についてです。今回の学習指導要領では、「見方・考え方」を鍛え、働かせながら学習を進めることの大切さが強調されていると捉えております。また、総則に「問題解決的な学習」という文言はなくなりましたが、「問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること」が新しく挿入され、「問題解決的な学習の重視」の考え方は変わっていないと捉えております。現に、平成29年の学習指導要領に先立ち出された平成28年12月の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」においては別添資料がつけられ、各教科等の学習過程のイメージが示されているところであります。

こうした流れがある中で、各教科書会社、各教科等において、「見方・考え方」や「問題解決的学習」の取り扱いについて特色等が見られれば、調査委員会としてのお考えをお聞かせ願いたいと思います。

続けて、2点目の質問をさせていただきます。

2点目は、情報活用能力の育成に関わって質問をいたします。今回の学習指導要領総則に「情報活用能力の育成を図るために、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するための必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」とあります。

大田区では、学習指導要領の改訂以前から、学校におけるICT環境の充実の計画をつくり、現在、先進的な指導を行っているところであります。また、「児童が、プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図して処理を行わせるために必要な論理的思考力を身につけるための学習活動」を、小学校では教科等横断的に行うこととなっています。

ただ、私は、小学校段階では、プログラミングの理論の習熟というより、「プログラムの働きやよさ」「生活に役立っていること」などについて気づかせたり、コンピューターを活用して問題を解決していこうという態度を育んだりしていくことが大切と思っています。

調査委員会報告では、ICT機器の活用やプログラミングについて、各教科等に触れているところであります。また、今回、QRコードがついた教科書が増えているのも大きな特色です。ICT機器の活用やプログラミングについて、各教科書会社、各教科等において特色等があれば、調査委員会としてのお考えをお聞かせいただきたいと思います。

以上でございます。

#### ○教科用図書調査委員会委員長

1点目の「見方・考え方」並びに「問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることに向かう学習の過程を重視する」という委員のお話でありましたけれども、どの教科書も、各教科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方である「見方・考え方」並びに「問題を見出して自ら解決策を考えていくこと」に資する教科書になっています。

発行者ごとに、「内容の押さえ方」や「表現」等は様々でありますけれども、具体的な学習内容、単元や題材の構成、学習の場面に応じた方法等について研究されており、どの教科書を使用しても、特段の不都合は生じないものと考えております。

また、こうした学習は急に始まったものではなく、今までの学習の積み重ねのもとに、子どもたちの、児童の資質能力を育むために、さらに改善、充実させていく必要があるというふうに考えております。

2点目の情報活用能力の育成に関わってお答えをしてみたいと思います。

我々も、QRコードというものを初めて目にしたものですから、これは具体的にどんなことがこのQRコードの中に含まれているのかということについて、委員会でも吟味をいたしました。例えば家庭科などでは、このQRコードを読み取りますと、調理実習の実際の過程などが動画で表現されております。QRコードは、これからの新しい教育の方向の一つであるICT教育に対する児童の興味・関心を抱かせるのに十分な入り口になるものと考えております。これからの時代を生きていく子どもたちにとって、実生活で生きて働く力の入り口になるものと考えております。

以上です。

#### ○後藤委員

後藤でございます。

私からは、音楽について質問をさせていただきます。

調査委員会の報告では、音楽の内容の押さえ方の中で、「教出」は「低学年から楽譜が五線譜で記載されている」、「教芸」は「学年や学習内容に応じて、楽譜のかわりにメロディーをあらわした図を記載している」とありますが、大田区の児童への「譜読み、楽譜を読む教育、指導についての捉え方」を、調査委員会からお聞かせ願いたいと思います。

#### ○教科用図書調査委員会委員長

学習指導要領によりますと、「譜読み教育」という言葉は、「音符、休符、記号や用語の取り扱い」に該当すると考えております。一般的な「音符、休符、記号や用語」については、3年生の教科書に全社で主に取り扱われています。取り扱う教材、内容との関連で必要と考えられる時点で、その都度繰り返し指導し指導計画に沿って学習を進めることとなっております。

詳しくは指導課長から答えていただきたいと思います。

#### ○指導課長

今ほど江森委員長からもお話があったとおり、音符、休符の用語については取り扱う教材、内容等の関係で、必要と考えられる時点で、その都度、6年間を見通した指導計画に沿って学習を進めるということになっています。

1・2年生の教科書においては、身近な「音符、休符、記号や用語」が教科書に示された曲に必要な内容について記載されています。一般的な「音符、休符、記号や用語」に関する説明は、3年生の教科用図書で示されておりますので、低学年の段階においては、楽譜のかわりにメロディーをあらわした図などから、音楽の楽しさに触れ、内容の理解を図

ることもよいのではないかと考えております。

以上です。

○深澤委員

深澤でございます。

書写についてお伺いいたします。

書写については、1・2年生から水書用紙がついている教科書がありましたが、毛筆は3年生から取り扱うということになっておりますので、1・2年生で水書用紙を使うということは、どのように使用するということが想定されていますか。また、「学校意見」や「区民意見」に、有用との意見があったかをお伺いしたいと思います。

また、「学校意見」では、書写について「光村」に肯定的な意見が多いということですが、その理由はどういうところにあるのか、国語も「光村」に肯定的な意見が多いということでしたので、国語と書写が同じ教科書がよいという理由から、「光村」に肯定的な意見が多かったということなのかということをお伺いしたいと思います。

○教科用図書調査委員会委員長

学校で実際にどのように指導されているかということについては、後ほど、伊藤副委員長からお話をさせていただきます。

学校の意見に、水書用の用紙がついていることについて、「学校意見」では、水書用用紙がついていることについての記述はありましたが、それが有効かどうかということについての意見はありませんでした。また、「区民意見」には、書写についての意見はありませんでした。

また、「光村」については、「学校意見」では、「学習の展開の仕方や問の答えの見つけ方が具体的に示されていてよかった。」「色、絵、写真がより効果的に使われていて、視覚的にも文章の内容を捉えやすかった。」「ノートやリーフレットの書き方など、国語科の教科書と連動した内容が比較的多い」などの意見がありました。

以上です。

○教科用図書調査委員会副委員長

水書用紙では、毛筆や水書筆を使うので「とめ、はね、はらい」を意識させたり、繰り返し書いたりすることが想定されます。

しかしながら、調査委員会においては、初期の指導で、筆圧を実感させながら正しい鉛筆の使い方を意識させたいという意見もありました。

以上です。

○深澤委員

次は、社会についてお伺いいたします。

現在、3・4年生は、大田区が作成した副読本を使用していると聞いておりますが、教科書は今後、どの部分をどの程度使用すると想定されているかお伺いしたいと思います。

#### ○指導課長

3・4年生の主たる教材としてはもちろん教科用図書ですが、3年生では、私たちが住んでいるまち、それから区市町村を中心に、まちの様子や商店、工場、健康やそれを守る人々の活動、昔のこと、他の地域とのつながりについての学習を、また、4年生では、都道府県を中心に、地理的環境の特色や地域の人々の健康と生活環境を支える働きなど、人々の生活との関係を設けて学習しますので、3・4年生においては、教科用図書とともに大田区のことを書かれている副読本「わたしたちの大田区」と、東京都と大田区に書かれている「わたしたちの大田区・東京都」を活用して、学習する構成になっております。

以上です。

#### ○深澤委員

最後の質問になりますが、道徳についてお伺いします。

道徳については、同じ教材でも、指導する先生ご自身の感じ方や捉え方をもとにするために、仮に教科書に記載されている発問形式で授業が進められたとしても、授業の内容は、自ずと異なってくると思われます。

そこで、授業の進め方を含めた先生方の勉強会や話し合いの場を持たれているのか、持たれているとすれば、どれぐらいの頻度でどのような形で行われているかということ、分かる範囲で教えていただきたいと思ひます。

#### ○指導課長

道徳の授業ということですが、各校では、道徳教育推進教師というものを任命しまして、区が主催する道徳教育推進教師連絡協議会や道徳教育研修会に参加することを通して、国、都、区の方針をもとに協議をし、特別の教科道徳の特質について理解を深めています。また、道徳教育推進教師は、各学校に戻り、その内容を伝達する形で各校で研修を行っています。日常的には学年会等の機会を捉えて、教材の活用方法や学習指導過程の工夫、また、年間指導計画をもとにした指導について協議を行い、指導方法を共有することを通して、授業力を相互に高める取り組みを学年会単位で行っているところでございます。

加えて、道徳授業地区公開講座を各校で行っているのですが、その事前準備の際に、学校としての学習指導略案に形式を定めて、保護者に伝わりやすいように学習指導過程について研究するとともに、指導方法を工夫する取り組みを行うことで、指導力の向上に努めているところでございます。

私からは以上です。

#### ○深澤委員

ありがとうございました。

#### ○教育長

ほかによろしいですか。

ほかにご質問がないようですので、これで、調査委員会から、江森委員長、伊藤副委員長からの報告を終了させていただきます。

なお、小学校教科用図書の審議・採択につきましては、8月7日（水）の定例会及び8日（木）の臨時会において行う予定でございます。また、8月9日（金）を予備日として予定しております。

既に、委員の皆様には教科用図書をご覧いただいておりますが、今回の本報告書を参考に、さらなる調査研究をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、次の日程に移ります。

日程第2について、事務局職員の説明を求めます。

#### ○事務局職員

日程第2は「令和2年度使用中学校教科用図書調査報告」でございます。

#### ○教育長

それでは、令和2年度使用中学校教科用図書調査報告について、指導課長から説明をお願いいたします。

#### ○指導課長

令和2年度使用中学校教科用図書に係る調査報告についてコメントさせていただきます。教科用図書は、原則として、4年ごとに採択を行います。今回は新しい学習指導要領による教育課程への移行期間である令和2年度、来年の1年間に区立中学校で使用する教科用図書採択についてご審議いただきます。

大田区教科用図書採択要綱では、第13条、採択の特例において、「前回の採択から新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書がない場合は、第2条第2項に規定する調査委員会及び資料作成委員会を設置することなく、前回の採択で用いた調査資料を利用し、採択する。」こととしております。

今回、採択の対象になっている教科用図書については、前回の採択時から新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書はございません。

したがって、調査委員会の報告書は、前回の採択時のものを使用しております。

それでは、令和2年度使用中学校教科用図書に係る調査報告についてご説明いたします。

平成28年度教科用図書調査委員会報告書をご覧ください。調査対象の教科用図書は、文部科学省検定済みであり、内容面や人権上の配慮等については十分に検討されており、どの教科用図書が使用されても、学習指導要領に示された教科の目標が達成できるという前提で協議しました。

本委員会では、「資料作成委員会報告書」「学校意見」「区民意見」を基礎資料にして、その妥当性を確認しながら、委員の調査資料に基づき、検定済み教科用図書全てについての特徴を整理しました。

本委員会における調査は、「大田区教科用図書採択要綱実施細目」に示された「内容の押さえ方」「構成・分量」「表現」「使用上の便宜」の四つの観点から実施し、教育委員会における採択事務が適切かつ円滑に行われるよう、大田区の生徒の実態を考慮しながら、客観的に報告できるよう努めました。

次に、平成28年度使用中学校教科用図書に係る「学校意見」をご覧ください。「学校意

見」は、全中学校 28 校から出され、それぞれの教科用図書についての細かな意見が集まり、貴重な資料となりました。

次に、平成 28 年度使用教科書「区民意見」をご覧ください。「区民意見」は、1,382 件寄せられ、種目、発行者の内容とその特徴を述べていました。

次に、令和 2 年度使用中学校教科用図書種目別・発行者別「学校意見」、令和 2 年度使用中学校教科書「区民意見」をご覧ください。現在使用している教科用図書について、新たに「学校意見」、「区民意見」を聴取いたしましたので、こちらもご覧いただきたいと思います。

令和 2 年度使用中学校教科用図書に係る調査報告についての説明は、以上でございます。

令和 3 年度からは、新しい学習指導要領による教育課程が全面実施されます。1 年後には、新たに文部科学大臣の検定を経た教科用図書の採択を行うことを踏まえた審議をお願いいたします。

私からは以上です。

#### ○教育長

ただいまの報告について、ご質問はありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、ほかに質問、ご意見がないようですので、これをもちまして、令和元年第 7 回教育委員会定例会を閉会といたします。

(午後 3 時 28 分閉会)